

かみくげ 恐竜の里新聞

平成23年7月25日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第36号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

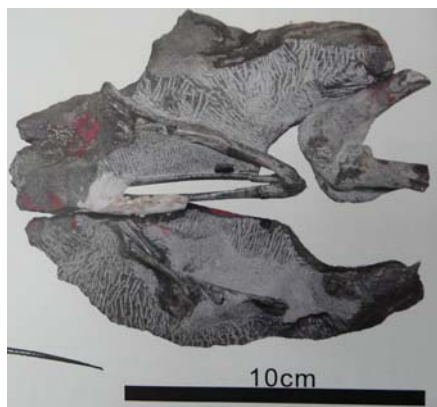
化石発見5周年 記念イベント開催 8月6日 元氣村かみくげで

上久下自治協議会は企業組合元氣村かみくげと共催して、丹波竜化石発見5周年を記念したイベントを8月6日(土)元氣村駐車場にて開催します。同時に、4月に完成して東北・関東大震災の影響で中止していた化石発掘専用棟と多目的展示施設棟のオープニング式典も丹波市長らを招いて行います。

午前10時より オープニング式典、10時30分～14:00 商工会による大抽選会や発電所跡での一日喫茶、ソーマン流しや各種バザーをオープンします。

詳細は7月23日(土)の新聞各紙の折り込みにも入れています。
暑い中ですが多くのみなさんの参加をお待ちしています。

篠山でも恐竜化石 青田自治会の松原薫さんが発見



写真提供：人と自然の博物館

県立人と自然の博物館は7月15日、篠山市の篠山層群から新たに恐竜化石が発見されたことを報じました。
発見したのは青田自治会の松原薫さん(62)ら「篠山層群を調べる会」のメンバーで、丹波竜発見後の調べる会設立当初から丹波竜以外の恐竜やそのほか白亜紀に生きた生物の化石調査の活動をつづけて来られました。

今回の発見は県立丹波並木道中央公園造成時に切り出された岩塊のなかから発見したもので、鳥類に近い恐竜「ディノニコサウルス類」の前脚、後脚の一部で大きさは10センチ足らず、保存状

態は良好で日本では2例目となるそうです。

丹波竜発見地の地層と連続した同じ篠山層群で、いずれ丹波竜以外の化石もどんどん出土してくるものと期待されていただけに、篠山市だけでなく丹波市にとっても篠山層群が全国から注目を集めることは意義深いことです。

多目的展示施設 愛称きまる

元氣村かみくげでは化石発掘体験専用棟と共に、4月に完成した多目的展示施設の愛称を一般公募していましたが、5月末で締め切ったところ市内外から30数点の公募作品が集まり、6月末の恐竜の里づくり協議会メンバーと元氣村かみくげの理事らで協議したところ次の方々の作品がそれぞれ選ばれました。

最優秀賞 「丹波竜の里 ふれあい館」
山南町青田 斎藤恭子さん
優秀賞 「コミュニティミュージアム」
宝塚市 川上純平さん

最優秀賞の斎藤さんには8月6日の化石発見5周年記念式典で「丹波米こしひかり30キロ」を、また優秀賞の川上さんにはちーたんぬいぐるみなどが贈られます。

最優秀賞に輝いた斎藤さんは「ふれあい館で地域内外の方々がふれあいの場を多く持たれるようになればうれしいです」と話されていました。

地区ソフトボール大会 太田自治会が優勝

施設正面入り口に掲げる看板「丹波竜の里 ふれあい館」の書は辻丹波市長にお願いし、式典の中で序幕することになっています。



6月26日(日) 上久下地区ソフトボール大会が中央グラウンドで行われ、東コート1位の下滝と西コート1位の太田とで決勝戦を行い、18対1で太田自治会が優勝しました。

決勝戦を戦った両チームは8月28日(日)に行われる山南町の大会に出場します。(畑内自治会はメンバー不足のため、棄権しました)

8月の予定

- ◆8月1、2日 平成たんば塾 地域づくりセンター
- ◆8月6日(土) 化石発見5周年記念イベント 午前10時 元氣村かみくげ
- ◆8月13日(土) 恐竜の里づくり協議会 午後7時30分 地域づくりセンター
- ◆8月26日(金) 自治会長会 午後7時30分 地域づくりセンター

丹波竜はメスだった？ モニュメント化粧直しおわる



恐竜化石発見現場で見学者を迎えている実物大の丹波竜モニュメントの化粧直しが完了しました。

かみくげ恐竜の里づくり協議会では8月6日の5周年記念イベントに間に合わせるべく3日間かけて全体像の塗り替えをしました。今までは背景の色に同化して目立ちにくいとの指摘もあり、今回、濃いピンク系のペイント（フレッシユベリ）を使い遠くからでも目立つように配色しました。

塗装の仕上がり状況から丹波竜をメスと想定して首にリボンを飾りつけてみました。「丹波竜はメスだった」とストーリーを作り上げ、来訪者のみなさんに楽しく解説し、夢を広げてもらえれるようなPRをしたい。「丹波竜がメスだったら、ひょっとしたら丹波竜の子どもや丹波竜に魅せられたオスの恐竜たちの骨も今後続けて発見されるかもしれない」と作業にかかわったメンバーらは話していました。

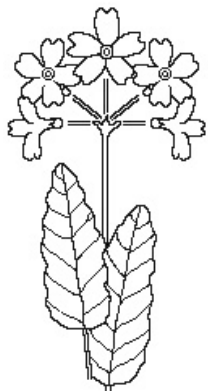
元氣村農場で初収穫



元氣村かみくげ農場では7月4日に植え付けた黒大豆（タンクロウ）の収穫作業を生産者で実施しました。試食したところ味は本黒とほとんど変わらず、来年は規模を拡大して栽培しようという話になりました。収穫した黒大豆は元氣村かみくげで23（土）、24（日）両日で即完売しました。

元氣村かみくげ農場では地域のみなさんに安全・安心の農野菜がたくさん提供できるよう頑張りたいです。

（元氣村農場より）



地域づくりセンター周辺清掃 老社会協議会役員ら40人

上久下老社会と自治協議会役員ら40数人は7月23日早朝から地域づくりセンターの植木の剪定や周辺清掃に汗を流しました。また、自治協議会役員らも同時に施設周辺や元氣村駐車場周辺の草刈も行いました。毎年の年間行事のひとつですが、参加者のみなさんには大変熱い中お疲れ様でした。



自治会トピックス

◆阿草 イベント案内

7月30日、川裾まつりが夕方から阿草公民館前で行われます。各種模擬店もオープン。

20時から花火大会。大きな花火が打ち上げられます。是非多くの方が会場または周辺からご覧いただきますようにお願いします。（阿草自治会長）

◆畑内 はつちつ元氣人ご紹介



毎日はつちつと元氣にウォーキングに出発されているかたがおります。その方は前田一男さん、（81歳）です。前田さんは12年間ほとんど毎日、畑内農道を東端から西端まで往復延べ3キロメートルをウォーキングされています。決まった時間に出発され、歩く姿勢には常に気を使い、また生活のサイクルを規則正しく、早寝・早起と食事についても栄養過多や偏重にならないように心掛けておられます。お陰様で病氣知らずで検皮の仕事をされていますが、現役をまだまだ続けていきたいと「はつちつ」とした前田さんでした。

（畑内自治会長）